

「区民で支えよう認知症」講演会を開催しました

平成25年11月9日、鶴見区民センター小ホールにおいて、鶴見区医師会との共催で講演会を開催しました。

この講演会は、今年で4年目になり200名を超える参加者でホールは満員の盛況でした。医師会長 米田嘉次先生の挨拶のあと、大阪市立大学大学院医学研究科老年内科学教授 三木隆巳先生の基調講演では、認知症を引き起こす疾患について、

①アルツハイマー型認知症 ②脳血管型認知症 ③レビー小体型認知症 ④前頭側頭葉型認知症それぞれの脳の変化と症状別に、わかりやすく説明していただきました。中でもレビー小体型では幻視、幻覚が起こりやすいのが特徴であったり、前頭側頭葉型では自分勝手な行動等が起こりやすいと説明されたのが印象的でした。

第二部での実際の事例については、1人目は被害妄想のある利用者への対応を秀和福祉会デイサービスの藤本氏より、2人目は熱中症の発症により入院したことで周辺症状がひどくなったアルツハイマー型認知症の利用者への対応についてをソラストケアマネジャーの立野氏と鶴見区地域包括支援センター平山から、3人目は認知症の方の家族への対応を包括平山とグループホーム管理者の橋本氏から伝えました。

最後は、医師会副会長 高山 進先生が、認知症になっても関係機関、地域が力をあわせて「連携する」事で、認知症になったからといって切り離されることなく、地域で住み続けていける鶴見区を作っていくと力強く述べられ終了しました。



「介護予防」に参加しませんか？ 無料

G N P P K
元気で 長生き “ピン ピン” 暮らす

寝たきり状態にならないためには？

まずは転倒しないこと！

「転倒による骨折」は、要介護状態になる原因の第1位になっています。

介護予防事業は65歳以上の方が対象の事業です。(要支援・要介護認定を受けている方はご利用できません。) 骨・関節・筋肉などの運動器の動きが衰えると、くらしの中の自立度が低下し、介護が必要になったり、寝たきりになる可能性が高くなります。運動器の障がいのために、要介護になっていたり、要介護になる危険の高い状態を **ロコモティブシンドローム** といいます。「運動」をはじめ、栄養バランスのとれた「食事」、しっかりと飲んで食事や会話を楽しむための「**お口のケア**」など予防全般を行います。(管理栄養士、歯科衛生士)

また、各地域では、認知症、閉じこもり予防を兼ねてステップ教室を開催しています。各地域の福祉会館など身近な場所で集い、体を動かしたり、レクリエーションなどを通じて地域の仲間と語り、心とからだの元気を高める事業です。



「運動器の機能向上」プログラム



「栄養改善」プログラム

ロコモ体操について (指導は、運動療法士、看護師)

寝たきり予防のための体操です。柔軟・バランス・筋力トレーニングの運動が盛り込まれた手軽に行える内容になっています。バランスの向上で転倒しにくい身体をつくり、筋力トレーニングで骨を丈夫にします。

「ステップ教室」

毎月、老人憩の家や福祉会館など地域の身近な場所で集い、体操やゲームで体を動かしたり、歌や音楽などのレクリエーション、手工芸などを通じて地域の仲間と語り、心と体の元気を高めます。

お問い合わせはこちらまで

名称	担当地域	住所	電話
鶴見区地域包括支援センター	茨田南・茨田・茨田東・茨田北・焼野	鶴見区諸口5丁目浜6-12	6913-7512
西部地域包括支援センター	緑・鶴見北・鶴見・茨田西・横堤	鶴見区諸口6-1-13	6913-7878
南部地域包括支援センター	榎本・今津	鶴見区今津南1-1-4	6969-3030

求人募集 一緒に働いてみませんか！

《デイサービスセンター介助員募集》

応募資格 介護・福祉に対してのやる気と熱意がある方。
(介護福祉士・ホームヘルパー2級の資格を有する方、優遇)

詳細のお問い合わせ (担当/真柄・高橋 ☎06-6913-7070)

《ケアマネージャー募集》

応募資格 社会福祉に関して理解と熱意があり、次の資格・経験を有する方
・介護支援専門員の資格を有し、介護(予防)プランの作成経験があること
・パソコンでの入力を行うため、パソコンの操作ができること

詳細のお問い合わせ (担当/吉田・山本 ☎06-6913-7070)



鶴見区マスコットキャラクター「つるりっぴ」

エコキャップの推進に協力しています

～飲料用ペットボトルのキャップを回収しています～

普段は捨ててしまっているペットボトルのキャップですが、それをリサイクル業者さんに販売したお金で、ユニセフ等を通じて海外の子どもたちへポリオワクチンを届ける活動があります。

キャップ1,600個で子ども1人分のワクチンが必要な国に届きます。また、ゴミとして焼却されるとキャップ400個で3,150gのCO2(二酸化炭素)が発生しますが、回収されることによって、資源のリサイクルとして役立ち、環境保護にもなります。



中学校で集めて持って来てくれました！

これまでに、みなさまのご協力で
たくさんのキャップを回収しています。

●累積個数 **2,836,780**個

●ポリオワクチン **3,112**人分 (平成25年12月末現在)

★ご協力をお願いいたします。

回収しているのは、飲料用ペットボトルのキャップのみ(しょうゆや液体洗剤、化粧品等のふたなどは不可)です。また、汚れがひどかったり、シール(値札・キャンペーンシール等)が残ったままだと**引き取っていただけなく、資源ゴミとなってしまいます。**

皆さんから預かりしたキャップは、**ボランティアさんによって**分けられ、シール等が残ったままの分は一つ一つはがしていただきます。キャップは洗って乾かし、シールは取り除いてからお持ちくださいますようお願いいたします。

★飲料用ペットボトル以外の特殊な形のもの、避けてください



★シール等は必ずはがしてください



★ひどく汚れているものはきれいに洗ってください



地域有償ボランティア育成事業に関するアンケート調査結果

地域有償ボランティア(仮称:おたすけ隊)育成事業とは？

会員同士が「ちょっと困ったな…」「助けてほしいな…」の声に、気軽に助け合える**相互援助活動**です。それぞれが、できること・得意なことを活かして、地域で助け合う仕組みです。

鶴見区では平成26年度からの開始を目指し、制度構築の参考にさせていただきため、平成25年11月にアンケート調査をお願いし、多数のご回答をいただきました。

【配布数】13,069枚(回収率28.8%)

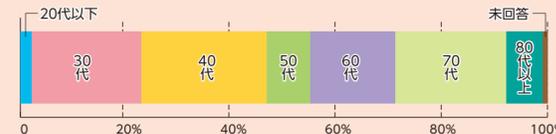
【配布方法】ポスティング、区内小学校・老人福祉センター・子ども・子育てプラザ・ボランティアビューロー登録ボランティア等へ送付

【実施期間】平成25年10月～11月

◆性別(男・女・未回答の3区分)



◆年齢(30歳未満～80歳以上と未回答の8区分)



◆世帯構成(一人暮らし・夫婦暮らし・その他の6区分)



◆困っていること

- 1位 家具の移動
- 2位 家の中の掃除
- 3位 子どもの学習サポート
- 4位 ふとん干し
- 5位 電球の交換



◆できること

- 1位 話し相手
- 2位 買い物代行
- 3位 ゴミ出し
- 4位 子どもの世話や遊び相手
- 5位 散歩や外出の付き添い



◆なぜ有償の活動を利用したいか？

- 1位 気を使わなくてよい
- 2位 人に頼みにくい など

有償ボランティアについてみんなで考えよう！

日時 平成26年3月19日(水) 午後2時～4時

場所 鶴見区民センター 小ホール

内容 鶴見区における有償の助け合い活動の今後について

【講師】
寝屋川あいの会理事長 三和清明氏
【コーディネーター】
甲南女子大学准教授 鈴木大介氏

平成25年11月
NHK「ルンソンの壺」
に出演！

「不登校」ってなあに？ ～子どもたちのSOSに気付くために～

日時 平成26年2月20日(木) 午後1時～3時

場所 鶴見区民センター 小ホール

講師 女性ライフサイクル研究所 小田裕子氏

主催 鶴見区社会福祉協議会 **共催** 鶴見区役所、子ども・子育てプラザ

入場無料
申込不要

